

平成30年2月 吉日

# 全日本格闘打撃空手道連盟主催・空手道大会のご案内

全日本格闘打撃空手道連盟

会 長 白鳥 富美夫

副会長 浅香 浩幸

技術顧問 鶴田 勝

## 第12回 全日本格闘打撃選手権大会

各 流派派の先生方におかれましては益々御健勝のことと御慶び申し上げます。

この度、第12回・全日本格闘打撃選手権大会を平成30年5月20日（日）毎日工業アリーナ久喜（旧 久喜市総合体育館）において開催する運びとなりました。

競技種目におきましても前回大会と同じく、組手・形・リアルプロテクト・小太刀短棒術に加え、新たに古武道のクラスを追加し、参加選手が各種目から得意種目を選択できるように致しました。つきましては、今大会をより充実した大会にするため、先生方の御支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

「大会名」 第12回全日本格闘打撃選手権大会

「主 催」 全日本格闘打撃空手道連盟

「主 管」 NPO法人・日本空手道 勇誠会

「後 援」 フルコンタクト KARATE マガジン

「協 賛」 全日本闘技空手道連盟 ・ 一般社団法人全日本琉球古武道連盟

「会 場」 毎日工業アリーナ久喜（久喜市総合体育館）

埼玉県久喜市大字江面1616番地 TEL0480-21-3611

（東北自動車道・久喜インターより100メートル南側）

無料駐車場（800台）使用可

「日 時」 平成30年5月20日（日曜日）

「受 付」

（ 幼児 ～ 中学生 ～ 一般 ）

受 付： 9時00分

開会式： 9時30分

試合開始：10時00分

閉会式： 16時30分（予定）

# 全日本格闘打撃選手権大会・競技種目

---

## 1、「防具・組手の部」

- ※ 面・胴を装着し、加点方式ルールで相手選手と6ポイントの差が生じた場合の勝利
  - 幼 児 (年中・年長) 男女混合
  - 小学生男子 (各学年別)
  - 小学生女子 (各学年別)
  - 中学生男子 (1年生)(2・3年生)
  - 中学生女子 (1年生)(2・3年生)
  - 高校～一般女子
  - 高校～一般男子・有級の部
  - 高校～一般男子・有段の部

## 2、「形の部」トーナメント方式

- ※ 小学生クラスは一回戦目を基本形(平安・ピンアン・撃砕・太極)とし、演武時間を1分00秒以内とする。二回戦以降は自由形可する。
- ※ 中学生から一般までは、一回戦目から自由形可。
  - 小学生・各学年別 (男女混合)
  - 中学生 (男女混合)
  - 高校～一般 (男女混合)
- ※ 参加人数により統廃合もあります。

## 3、「リアルプロテクトルール」高校～一般のみ

- ※ 防具(面)のみを装着し2ポイント先取で、寝技および関節技なしの実戦的ルールです。
  - 高校～一般男子・有級の部(軽・中量級70kg以下)(重量級)
  - 高校～一般男子・有段の部(軽・中量級70kg以下)(重量級)

## 4、「小太刀・短棒術の部」

- ※ 片手に短棒、もう片方に盾(ミット)を持って10ポイント先取り制。
  - 小学生・学年別 (男女混合)
  - 中学生から一般女子 (男女混合)
  - 高校生～一般男子

## 5、「古武道型の部」

- ※ 武具は(棒・釵)とし、予選は点数方式にて行い、二回戦目以降は当日組合せのトーナメントによる旗判定、また、二回戦目からの武具の選択は、予選での点数が高い選手に選択権を与える。
  - 小学生(1, 2年)(3, 4年)(5, 6年)男女混合
  - 中学生 男女混合
  - 高校～一般 男女混合

## 6、「団体戦」各会派より1チーム(3名編成)男女問わず

(先鋒:小学1～2年より1名)(中堅:小学3～4年より1名)(大将:小学5～6年より1名)  
以上3人で1チームによる優勝カップ争奪戦(選手にはメダル授与)  
団体戦のエントリー費は1チーム6,000円

## 「表彰」

各部門1位から3位、他に、大会会長賞・優秀選手賞・連盟理事長賞・  
格闘打撃賞他(各賞に特大トロフィー・楯・授与)

## 大会注意事項

- ※ 当日試合での事故(負傷、死亡等)は応急手当てのほかは、主催者は一切責任を負いません。  
(スポーツ保険は主催者で加入、健康保険証をご持参ください)
- ※ 相手選手、審判に対するヤジ等は、退場していただき今後一切エントリーできません。
- ※ 審判の判定に対してのクレームは受け付けません。
- ※ 試合時のピアス、指輪、ペンダント等は禁止します。
- ※ プロテクト部門のスーパーセイフ面、胴は極力個人、団体に用意してください。  
主催者側でも数に限りがありますが用意します。
- ※ 胴はフルコン練習用の薄い胴、寸止め用の物は不可、極端に自己の体格より小さい胴や  
大きい胴も不可、
- ※ 小太刀・短棒、盾は主催者でも数に限りがありますが用意します。
- ※ 昼食の用意はありません。各自持参するか、施設内レストラン又は、近くのコンビニ等  
をご利用ください。

「参加費」 幼児・小学生・中学生・高校・一般 まで一律 5,000円  
(保険料、パンフレット、記念品含む)  
※ダブルエントリーは進行上の都合により不可とします。

「申込方法」 大会注意事項を熟知し、申込書に必要事項を記入の上、参加費を添えて  
現金書留にて郵送してください。  
※ 当日の支払は受付致しません。  
※ 締切日に納金の確認が出来ない場合はエントリーされません。  
※ 納入した参加費はいかなる理由でも一切返却されません。

**締め切り 4月3日(火)(必着〆切り厳守)**

大会問い合わせ・申し込み先

〒347-0063 埼玉県加須市久下2-4-20

全日本格闘打撃空手道連盟事務局(白鳥 富美夫)まで

TEL/FAX 0480-65-8390 携帯 090-8568-4505

# 団体戦申込書

団体名

新学年を記入してください。

代表者

印

	選手氏名	年齢	性別	学年	身長	体重	級位・段
先鋒							
中堅							
大将							

(先鋒) 小学1・2年生 (中堅) 小学3・4年生 (大将) 小学5・6年生

※ 団体戦出場選手は、各部門の個人戦出場者に限ります。

※ 各会派、1チームのエントリーとなります。参加費用は6000円です。

-----  
キリトリ

下記、集計表に参加人数と合計金額をご記入ください。

団体名	代表者
住所	連絡先
防具組手	5000円 × 名 = 合計 円
形	5000円 × 名 = 合計 円
リアルプロテクト	5000円 × 名 = 合計 円
小太刀・短棒術	5000円 × 名 = 合計 円
古武道 棒・釵	5000円 × 名 = 合計 円
団体戦	6000円 × 1チーム = 合計 円
合計人数	名 総計 円

## 「組手試合」判定基準

「試合概要」 1、 時間 中学生まで 1分30秒（通し時間）延長1分先取り  
高校生以上 2分 （通し時間）延長1分先取り

- 2、 加点方式による8ポイント先取
- 3、 面・胴・手足サポーター（極力白色布製）を着用する。
- 4、 男子はフェールカップ（ファウルカップ）を着用する。
- 5、 マウスピース着用（任意）

「ポイント」 1、 上段への蹴り（技あり）2ポイント  
2、 中段への蹴り（技あり）1ポイント  
3、 全ての手技（技あり）1ポイント  
4、 相手選手のダウン すぐ立ち上がる（技あり）2ポイント  
5、 相手選手がダウンし3秒以上立てない時（1本勝）  
6、 相打ちは両方とる。  
7、 防具箇所であれば、手刀・掌底などもポイントとする。  
（但し、正確にコントロールされた技に限る）  
8、 次の技につなげる足払いを認める。但し単発は反側とする。

「反則」 1、 つかみ、投げ技は一切禁止とする。  
2、 防具以外への攻撃。  
3、 ガッツポーズ、審判へのアピール等は試合以外の言動とし反側とする。  
4、 足がコート線より出た場合は場外とする。

- ※ 反側及び場外は注意が与えられる。1回目で注意が与えられ、2回目で相手選手に技有りがあたえられる、3回目より、さらに1ポイントずつ加算される。
- ※ 試合中に泣き出し、攻撃姿勢及び防御の意志を見せない場合、戦意喪失とし相手選手の勝ちとなる。

## 「形試合」判定基準

- 小学生クラスは一回戦目のみ基本形とし、二回線目以降は自由形とする。  
（中学生～一般は一回戦目より自由形可）
- ※ 小学生クラスの基本形は演武時間を1分00秒以内（結び立ちになった状態）とし、時間を超過した場合はコート係りの「時間です」で失格となります。
- 勝敗は赤・白旗によるフラッグ判定とする。
- ☆ 形の順序が正確に行われているか
- ☆ 本来の意味での形の演武
- ☆ 分解の理解度
- ☆ 良いタイミング、リズム、スピード、バランス、極め
- ☆ 極めに必要な正確で適切な呼吸
- ☆ 着眼及び集中力
- ☆ 適切な足の緊張を伴う正確な立ち方
- ☆ 腹部、胸部の適度な緊張、又、腰の上下の動きがないこと
- ☆ 演武する流派の形（基本）
- ☆ 型の難度など内面的な部分も評価する
- ☆ 演武中に、形が途切れた場合、又は申告した形と異なる形を演武した場合
- ☆ 競技場に入出する際の作法・姿勢

## [格闘打撃リアルプロテクトルール]

- <試合時間> ※高校生 ～ 一般 (本戦2分/延長1分) 決勝戦のみ再延長戦が認められる。(再延長1分)
- <勝 敗> 「一本技」又は「2ポイント先取」で合わせ一本勝ち。ポイントの多い選手の勝ち・判定での「優勢勝ち」とする。
- <一本勝ち> 反側箇所を除く部分へ(突・打・当・蹴)を瞬時に決め、相手を倒したとき、相手の戦意喪失により試合続行不可能となった場合は一本勝ち。
- <技 有 り> 一本とされないが有効技と見なされた技。一時的に戦意喪失となった場合や一方的な加撃が続いた場合。
- <判 定> 一本技、又はポイントが入らず勝敗が決まらない場合は判定で決定する。  
主審1名・副審2名とし、2名以上の判定を有効とする。
- <延 長> 判定がつかない場合は引き分けとし延長戦を行う。延長戦に於いても勝敗が決定しない場合は、審判団の判定により勝敗を決める。決勝戦に於いては再延長戦を認める。
- <反 側> 反側攻撃部分(後頭部・首・側面耳・金的・肩肘膝関節)への攻撃。背後からの攻撃。掴みながらの攻撃。但し瞬間的な引っ掛け、又は掴みと同時に出た技は有効とする。
- <有 効 技> (突・打・当・蹴)を反側箇所を除く部分へ瞬時に決めた場合。  
(手刀・裏拳・鉄槌・肘打・エンピ・膝蹴り)なども有効とする。
- <減 点> 反側および場外は減点が与えられる。一回目で注意1・二回目で注意2となり相手選手に「技あり」としポイントを与える。
- <失 格> ※試合中、審判の指示に従わないとき。  
※粗暴で悪質な試合態度や、相手選手や審判等に暴言中傷があったとき。  
※セコンドが武道精神に反する過度の応援、中傷言動があったとき。  
※反側・場外などの注意を重ね、規定の原点数になったとき。
- <防 具> スーパーセーフ面(シールド面・Kプロテクターなど)目の部分が開いていないもの。  
拳サポーター・レッグサポーター(共に布製)・ファールカップ使用
- ◎ 特徴としては、安全面を考慮した寝技および関節技なしの実戦的ルールです。

## [古武道型の部] 全日本琉球古武道連盟(競技規定より一部引用)

- 競技場は予選8m×8mの正方形で行い、二回戦以降は8m×11mの長方形とする。
- 競技に使用する武具は、棒と釵とする。
- 一回戦目は点数方式にて行う。
- 二回戦目より、当日組合せのトーナメント方式とする。その際に使用する武具は、予選で高得点を出した選手に選択権を与える。
- 武具の長さ・重量・材質・形状は次の当理とする。

- [棒] 長さ= 高校生から一般男子までを6尺とし、一般女子の部は重量の規定満たせば身長プラス10cmの長さで可。  
重量= 高校生～一般男子までを900g以上とし、一般女子の部は800g以上とする。  
材質= 木製であり長さ及び重量の規定を満たしていれば木質については特に定めない。
- [釵] 重量= 1本の重量を650g以上とする。  
材質= 鉄製(メッキ可)・ステンレス製

※ 少年部及び中学生の部に関しては特に規定を定めず日頃稽古で使用しているものを認める。

# 小太刀・短棒術ルール規定（全日本闘技空手道連盟ルール規定）

## 1、「小太刀・短棒術個人戦」

ポイント制（10ポイント先取り制）

## 2、「審判及び時間」

- ・試合は主審1名・副審1名の2審制、又は主審1名・副審2名の3審制で行う。
- ・時間は各クラスとも1分30秒の合計ポイントにより優劣を決める。
- ・延長は1分内の先取りポイントとする。

## 3、「技あり」

- ・相手の体に小太刀・短棒が先に当たった時点で技ありとする。
- ・上段（首から上）は2ポイント、その他の部位は1ポイントとする。
- ・相打ちは両者ポイントとする。
- ・小太刀・短棒を落とした場合でも試合は続行します（直ぐに拾い直して下さい）
- ・小太刀・短棒を落とした相手への技ありポイントは1ポイントとします。  
（面を攻撃した場合でも1ポイントとなります）
- ・小太刀・短棒が場外に出た場合は相手に1ポイントの加算とする。  
（少しでも残っていれば良い）
- ・体の両足がコートより出た場合は相手に1ポイント加算する。（場外）
- ・延長戦の相打ちは取りませんが、但し相打ちの上段（2ポイント）対、上段以外（1ポイント）の場合、上段（2ポイント）の勝ちとなります。

## 4、「反側」

- ・相手をつかんでの攻撃。
- ・金的への攻撃。
- ・突きの攻撃（行為も反側になります）
- ・小太刀・短棒以外の攻撃（例：盾・突き・蹴りなど）
- ・審判の宣告「止め」後の過剰攻撃

全て反側は相手1ポイント加算となります。

〈反側加算ポイント〉

- ・反側行為1回目は注意警告とする。
- ・反側行為2回目より相手に1ポイント加算する。

## 5、「防具」

- ・面はスーパーセーフ、又は主催者が定めた面を使用とする。
- ・小太刀・短棒の持ち手には拳サポーター使用とする。

## 6、「小太刀・短棒及び盾」

- ・主催者が定めた小太刀・短棒、盾を使用とする。

## 7、「大会服装」

- ・空手衣（道衣）着装的事。

## 8、「その他」

- ・審判に従はなき場合は失格とする。
- ・審判への暴言についても反側行為、又は失格とします。
- ・応援者の審判への暴言についても反側行為とみなし、退場を命ずる場合もあります。